

沖繩芸能のダイナミズム出版

研究者7人が
各テーマ執筆

八重山の祝宴の考察も

「沖繩芸能のダイナミズム

ム―創造・表象・越境」(久万田晋・三島わか)がこのほど(株)七月社から出版された写真。

同書は沖繩にみられる多様な伝統芸能―八重山の祝宴、組踊、エイサー、ハワイの盆踊り、三線など―について、7人の研究者がそれぞれのテーマで論じた論

考集となっている。

第1章では飯田泰彦氏(竹富町教育委員会)が八重山の「祝宴」について考察。竹富島の種子取祭や新城島の結願祭の祭祀まつりに加え、生年祝い、結婚式など多くの事例を取り上げ、儀礼のような様式化された芸能から庶民が楽しめるくだけた芸能が演じられる祝宴の構

造や可能性について論じている。

このほか戦前・戦後のラジオで形成された沖繩イ



メージの研究や、近世における組踊、本島でのエイサー伝播の状況、ハワイでの沖繩系移民の芸能、三線の価値と人間関係など、さまざまなトピックが取り上げられている。多角的な観点からみた「伝統芸能」や時代とともに伝播、変容していく様子などについて詳細に記述された著書となっている。

市内書店で販売。2800円(税別)。全384ページ。